

中一 国語科通信

第8号
平成30年3月19日
国語科1年担当
日高・平川・猿間



「たけのこの里」のようなるつぼみして
ソメイヨシノは春を待ちおり

はるどく

ゲームを捨てて、本を読もう



二月の三連休に、宅習の代わりに本を読む宿題を出しました。金曜日の一時間を使って図書館で本を選び、週明けに読書案内を書きました。書名・著者名・出版社名などの他、お勧めのひとことや珠玉のフレーズなど、読書案内を読んだ人が、その本を読んでみたい！と思えるような内容を心掛けました。



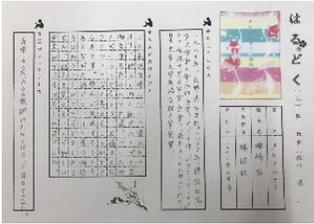
各クラスから数枚、図書館に掲示していただくことが決まりました。その他の作品は校舎内に掲示します。ぜひたくさんさんの読書案内を読み、興味を持ったものは春休みを利用して読んでみてください。そして読後の感想を語り合ってください。さらにまた、別の人にもお勧めしてください。

みんなを広げよう読書の「輪」!

今年度最後の「秀作」は、学年末考査の意見文（論理の虎）を読んでの意見文から、教科担任三人で厳正な審査をした結果、一組のTさんの文章に決定しました。エナジードリンクの危険性について述べた文章から、危険なのはそれだけではなく、どんなものでも付き合ひ方によっては魔法の薬にもなる、と話題を広げている点が高く評価されました。「麻薬」ではなく「魔薬」と、表現で遊んでいる点もおもしろいですね。

一組 Tさん

エナジードリンクだけでなくどんな食べ物でも大量に摂取すれば体に良くないことは明白だ。私はエナジードリンクを飲んだことはないが、もし摂取するときは危険性や成分表示、効能を理解した上で、元気になったと錯覚させる「魔法の薬」の魅力を利用し、自らポジティブに目の前にある壁を乗り越えることも良いと思う。だが、理想はストレスを溜めず適度な運動をしバランスの整った食事や睡眠を心がけたいものだ。



お知らせ

今年度の授業は三月十六日で一区切りですが、まだ「流水と私たちのくらし」・古事記・製本……等々、終わっていないものがたくさんあります。

二十日から始まる補習で今年度の「締め」をしますので、皆さん体調を崩さず、必ず補習に出てきてくださいね。

コラムマラソン 第八回 そして(食)生活はつづく

日高由里子

今年も三月十一日が巡ってきました。七年前のあの日、「東北地方で震度7の地震がありました」と聞いたときは、何かの間違ひではないかと思いました。

被災地の状況を毎日見聞きしているうちに「同じ日本に住んでいながら、こんなに平穏に暮らしているのだからか」——罪悪感ではないけれど、幸せな自分を自分で責めてしまうような、そんな気持ちはどうすることもできなくなっていました。

そんな時、私を勇気づけてくれたのが大好きな料理家の言葉でした。

「元気でいられる人が元気でいることも、復興へのひとつの道ではないかしら。だから『いただきます』と『ごちそうさま』を、今までもよりも大切に。どんな状況にあっても生きていけばお腹は空くし、食べなければ生きていけないのが私たち。だったら元気においしく感謝して食べようと思いませんか。やっぱり「食べる」ということが、すべての根底にあると思うのです（私が無類の食いしん坊なのはさておき……）。

現在、我が家の食事は五歳の息子の「いただきます！」の号令で始まります。その声を聞くと、大袈裟でなく「今日を生きられてよかった。明日もがんばろう」と思えます。

よし、今夜のおかずは息子の大好きなハンバーグにしよう。